

TO共通事項

■アスリートガイド、警備計画、競技説明会、2025 Flag System Operationを確認する。

2025WTCS横浜大会 TO向け情報 | 一般社団法人神奈川県トライアスロン連合

■接触事故を把握した場合

https://yokohamatriathlon.jp/wts/pdf/2025AG_Age.pdf (アスリートガイド P 30)

「競技中、接触事故等の当事者（加害者側・被害者側）になった場合は、ご自身と相手の状況に関わらず競技を中断し、TO（審判員）の指示に従うようお願いします。」と記載あり

接触事故等が発生した場合、選手がTOに指示を仰ぐこととなります。この場合のTOの対応、手順を以下のとおりとします

- ① 接触事故を認知した時刻、事故状況、及び双方のレースナンバーを記録する
- ② 当事者の意識状況、身体の状態を本人らに確認し、メディカル対応の要否を判断する
- ③ ①②を本部へ連絡する
- ④ メディカル対応が不要な場合は、当事者には競技終了後にメディカルセンターにて診断を仰ぐように通知し、競技の続行を許可する
- ⑤ メディカル対応が必要な場合は、本部指示を仰

■ペナルティ

適用ルールは以下を参照のこと。

https://archive.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190207.pdf (バイクパート P 19 ~、ドラフティング関連 P24~)

https://yokohamatriathlon.jp/wts/news_250424-2.html (アスリートガイド P 30)

ドラフティング禁止。ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方 1 0 m。並走の場合もドラフティングとなる。

定点審判員は該当選手に注意を促し、それでも駄目なら無線あるいは携帯でチームに時間、場所、レースナンバーを連絡すること。→ チーフより本部に連絡。

ペナルティ宣告は審判長権限とする。

■ドラフティング・キープレフトの対応

- ・ドラフティングか否かは、「追い抜く意思を持って前に進んでいるかどうか」「故意に並走していないかどうか」
 - ・プロペリングか否かは、「追い抜いたあともスピードを維持し、追い抜き完了後、キープレフトしたか」
 - ・追い抜く時以外はキープレフトを維持しなければならない。左側追い抜きを発見した場合（もちろん左側追い抜きは禁止だが）追い抜いた選手と同時に、これを誘発した「センター寄り走行の選手」にも注意を与える。（安全走行違反の注意）
 - いずれも、選手をしっかり観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。いずれも、選手をしっかり観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。
 - ・モーターバイク T O およびモーターバイクに同乗する T O が中心に基本対応する。
- ⇒注意対象：同じチーム、女性を引っ張るような場合等

■DNF対応

- ① DNF選手を把握したら選手のレースナンバー、DNFLした時刻、DNFLした理由、メディカル対応の要否、を確認する。
- ② DNF選手のアンクルバンドを回収する。
- ③ 速やかに、本部へ連絡する。（無線を所持しているエアチーフに連絡を託す 同時に情報をLINEへ）
- ④ 自力で帰還可能な選手については、歩道を徒歩にて戻ってもらう。→ TOが方向を案内する。

■自走不可となった選手と自転車の取扱いについて

- ・自転車を選手自身で運搬できない場合には、競技終了後に大会車両で大会本部まで運搬する。
- ・メディカル対応要となり、選手を緊急車両で運搬する場合も、競技終了後に大会車両で大会本部まで運搬する。
- ・競技中に大会車両での自転車を運搬したい場合は、必ず大会本部の判断を仰ぐ。(緊急に自転車運搬が必要になるケースは無いと想定しており、競技終了後に運搬することとします。)
- ・自転車をコース上で一時保管している場所を、KnTU本部へ連絡する。

■車両の出庫

- ・山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり。7 時までの出庫を原則とするが、遅れる可能性あり。
- ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに引き出さないことが毎年発生
- ・B4、D11担当TOは警備員と協力して誘導する。

エリアチーフ	備品	備品
梶澤SCTO 青山 英司 今井 あかね 大山 操 木南 繁 牧野 浩一 井口 大介	県民ホール前～山下ふ頭入口付近 (B1～B3) B1 B2 B3 ※ 乗降車ライン付近の設営はトランジションTOが担当するが、フィニッシュ/周回分岐、スタート/周回合流等、安全性を確保できるよう、バイクTOはアドバイスおよび設営協力する ※ 分岐を誤った選手の対応はトランジションTOが担当するが、必要に応じてサポートする	竹ぼうき(3)、トラカ* (1)、ガムテープ (白、赤、黄 1組) (2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、Iマシ、コーン連結用テープ (1) 右Uターン看板大小(1)、TIMELIMIT(1)、フィニッシュ/周回分岐大小(1)、減速(4)、右折(1)、左折(3)、右矢印(2) ・パラTRI-1選手のラン (ホイールチェア) フィニッシュや緊急時の医療スタッフを乗せたモーターバイク出入口として鉄柵の開閉移動があるため、移動する柵へはバナー設置やタイラップ止めは実施しないように設備担当と調整する。 ・パラTRI- 1選手のランフィニッシュ対応 ・ランコース誘導地点のホテルニューグランド前に接近していることを本部まで伝える。 ・折返し地点を選手にわかりやすく案内するために、手前に案内板を設置する。 ・パラ選手にもわかるように低い位置での視認性に注意。T Oは「スローダウン」「折返し」のアナウンスを行う。 ・折返し後にバイクフィニッシュ/周回の分岐がある。手前に案内板を設置する。 ・パラTRI-1選手のバイク (ハンドサイクル) フィニッシュの公園入口左折コース設営に注意。・乗車後のスタート/周回合流 ・走行が安定するよう十分な区間を確保する。衝突を避けるコースづくり ・12:35以降は新規に周回コースに入れず、乗車ライン先にて、カットオフ (DNF) を実施する。 ・山下埠頭と山下公園間のバイク対面かつ左折・右折箇所であり、コース設営注意 ・走行が安定するよう十分な区間を確保する。衝突を避けるコースづくり
川口SCTO 堀越 和彦 吉崎 富美子 近藤 靖子 鈴木 俊平 近藤 公敏 峰 和男	新山下方面1 (B4～B7) B4 B5 B7	竹ぼうき(3)、トラカ* (1)、ガムテープ (白、赤、黄 1組) (2)、赤白旗(1)、黄旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、Iマシ、インナーブランケット(3)、コーン連結用テープ (1) 横断路(2)、横断路内左側通行(2)、右Uターン看板大小(1)、右矢印(1)、減速(2) ・早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに引き出さないことが毎年発生 ・山下埠頭と山下公園間のバイク対面箇所であり、コース設営注意 ・山下橋へ向かうバイクと山下橋から下りるバイクが対面になるので、コース設営注意 ・高架で狭いため、T Oの配置や落下物の対応に注意（復路は歩道がなく、堀も低いのでT Oは注意） ・貯木場入口 横断歩道箇所の歩行者横断対応

備品 差し替え

エリアチーフ 高田 S C T O	新山下方面2 (B8~B9)	
	備品	竹ぼうき(3)、トラコ* (1)、ガムテープ (白、赤、黄 1組) (2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、マーキングシート(3)
	サイネージ	右矢印(3)、右折(1)、左折 (2)
	B8	・早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに出きらないことが毎年発生 ・パラバイク最終選手情報を無線で報告
	B9	・封鎖横断路監視対応 (見晴橋入口信号) 現場スタッフともに対応。 ・折返し地点はスローダウンアナウンス。 ※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前に R 部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。
エリアチーフ 中尾 S C T O	山下ふ頭1 (D1~D7)	
	備品	竹ぼうき(3)、トラコ* (1)、ガムテープ (白、赤、黄 1組) (2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、マーキングシート(3)
	サイネージ	斜め右折(1)、斜め左折(1)、右折(1)、左折(1)
	D1	・埠頭入口地点監視 ・フィニッシュ/周回分岐の運営注意 ・対面走行管理 ・パラバイク-1選手ラン誘導
	D2	・対面箇所であり、コース設営注意 ・山下橋方面前の減速対応を行う。特に道路の補修されていない直線溝があるため、コーンで走行路を R をとって緩やかにする。
	D4	・対面箇所であり、コース設営注意 ※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前に R 部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。
	D5	・バイク対面箇所であり、コース設営注意 ・緩やかな曲がり角があるので注意
	D7	・バイク対面箇所、かつ曲がり角であり、コース設営注意。往路・復路とも R を事前に付けたコース取りを考慮した設営とする。 ・曲がり角の走行に注意 ・SCTO・D8側と協力して、緩衝帯配置を現場検討する。
	※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前に R 部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。	
エリアチーフ 大谷 S C T O	山下ふ頭2 (D-8~D-14)	
	備品	竹ぼうき(3)、トラコ* (1)、ガムテープ (白、赤、黄 1組) (2)、赤白旗(1)、養生テープ(2)、ビニール袋(10)、軍手(10)、マーキングシート(3)
	サイネージ	右折(2)、左折(1)
	D8	・バイク対面箇所、コーナーあり、コース設営注意。往路部分は R を事前に付けたコース取りを考慮した設営とする。 ・コーナー走行に注意 ・SCTO・D7側と協力して、緩衝帯配置を現場検討する。
	D9	・緩やかな曲がり角があるので注意 ・コーナーあり、コース設営注意。門扉のマンホールに注意したコース設営を実施する。
	D11	・早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり ※ふ頭内事業所の夜勤者が帰宅するが、交通規制開始前までに出きらないことが毎年発生 ・エイジ(パラバイク-1)のラン (ホイールチェア) の走行時に、山下埠頭から新山下折返しへの走路を作るためにコースの導流帯を作る (エイジバイクと合流に注意) 。また、誘導はSCTOおよびTOともに行う。 ・線路跡に注意のこと。
	D12	・コーナーのコース設営注意。 ・ガンダムファクトリー従業員が歩道を通行することが想定されることに注意。
	D13	・ガンダムファクトリー横の従業員専用出入口は当日の閉鎖であるが、従業員が出入りするようであれば正面に回ってもらうよう声掛けする。
	D14	・コーナーあり、コース設営注意。R を事前に付けたコース取りを考慮した設営とする。 ※路面状態が悪い箇所は避けるようにコーンを適切に設置し、コースを設定する。 ※鋭角に曲がる場所には、事前に R 部分を付けて曲がり角に減速して入るような設定を施す。